

No.	団体名	事業名	交付確定額	概要・目的	実績	効果
1	子どもランニングフェスティバル実行委員会	子どもランニングフェスティバル2023	500,000	「健幸・スポーツ都市」宣言をした久喜市の子どもたちが、本格的なランニングイベントに参加することで、ランニングの楽しさを体感するとともに、活力あるイベントを内外へ発信することで子どもに手厚い久喜市のイメージアップに繋げる。昨年実施して好評だった当イベントの内容を発展させて、魅力的なイベントとして定着を図り、久喜市の活性化に繋げる。	日時:令和5年11月12日(日) 場所:久喜高校グラウンド 内容:ランニング教室(講師:川内鴻輝、田中裕将)、親子ランニング(250m)、記録会(小学校低学年1,000m、中学年1,250m、高学年1,500m) 来場者数:180人	・多くの子どもランナーが集まりランニングの楽しさを実感できた ・本格的な協議会運営の中でランニングの醍醐味を体感できた ・ランニング教室では、基礎を体得することでレベルアップが図れた ・久喜高校(競技)、久喜小学校(駐車場)、などの協力が地域でのつながりを深めた ・広報くきの中で、久喜市が「健康的なランニングの街」であることをアピールできた
2	あゆみリズムクラブ	カプマリ ファミリーコンサート	1,000,000	地域の施設(会館やスタジオ等)を活用し、久喜市のスローガン「すべての市民が夢と希望をもって学ぶことができるまち」づくりに貢献する。コロナ禍が落ち着き始めた今、地域のふれあいの大切さを伝えるために親子への音楽を楽しめる場所として、生演奏によるファミリーコンサート(幼児、学生対象)の企画、運営、開催する。	日時:令和5年10月9日(月) 場所:久喜総合文化会館大ホール 内容:親子で楽しめるファミリーコンサートを開催。出演はパラグアイのハープ「アルパ」2台とパーカッションの3人組「カプマリ」とケーナ渡辺大輔をゲストに迎え、前後半の2ステージ。クラシック、南米音楽folklore音楽、子ども達が楽しめる手遊びコーナーや音楽と手拍子を合わせるボディーパーカッションコーナーを盛り込んだプログラム。休憩中には、ヨガインストラクターによるヨガを実施。久喜市のゆるキャラを招致し、コンサートを盛り上げてくれた。 来場者数:約300人(主催者発表)	当日、残念ながら雨天候となってしまったが、約300名の来場者があり、無事に開催。 子ども達、親世代、御父母世代と3世代で音楽を楽しみ、地域のふれあいの場となり、活性化が図られた。 家族で生演奏を楽しむことで、子育て世代への応援、支援につながった。 民俗音楽、民族楽器、民族衣装を实际に見て聴いて、体感を通じて、異文化に触れ、生涯学習の機会、異文化交流の促進が図られた。 市内学校の校長会でコンサートを紹介して頂き、幼稚園、小中学校にチラシを配架して頂き、地域の繋がり、ご協力頂きながら開催できた。
3	BON!!フェス実行委員会	Halloweenキャンディーナイト☆	1,000,000	新しい魅力的なイベントを作り地域活性・地域交流・幅広い年齢の社会的な関係性を構築する。音楽や運動で久喜市を盛り上げ健幸にする。久喜市の魅力を高めて発信する	日時:令和5年10月28日(土) 場所:久喜総合文化会館 内容: ・右脳教育学習等の講演会やプリントテストチャレンジ ・ダンスコンテスト ・eスポーツ大会 ・ハロウィンファッションショー ・ハロウィン仮装大会 ・キッチンカー 来場者数:6,000人(主催者発表)	・右脳協会理事にお越しいただき、講演会を行いました ・ガウディア教室の協力のもとテストを行い、たくさんの親子さんにチャレンジしてもらいました ・ファッションショーでは、各自好きなコスチュームを着てランウェイを楽しみながら歩き、コンテストでは緊張しながらも気合の入った仮装で優勝を目指し、カッコよく!可愛く!家族や友人達とランウェイを歩いていました ・ダンスステージでは、日頃の成果を一生懸命に表現し、踊っていました ・キッチンカーでは、いろいろな種類の食べ方が並びに親子で楽しくピクニックのように食事ができました ・最後のcandy nightは、お菓子が降ってくるのを子供たちが大喜びで!!見ている保護者の方々や実行委員会までも温かい気持ちになりました
4	音楽サークルスタジオ N.E.J.I.	音楽イベントの企画・運営	1,000,000	年齢や経験の有無を問わず、音楽や楽器に触れる機会を増やし、【音楽の街】久喜の機運を高める。	日時:令和5年9月3日(日)、10月1日(日)、11月3日(金)、12月9日(土) 場所:久喜中央コミュニティセンター 内容: 講師の方を招聘して音楽、特に楽曲とその演奏に関する解説をしていただく ・来場者の方々を順番に指名し、実際に楽曲を演奏していただいた ・参加者にアンケートを実施した 来場者数:61(主催者発表)	・講座を通じて来場者に音楽の知識と演奏体験を共有していただいた ・希少なイベントが開催されて、有り難いとお声をいただいた
5	子育てママが久喜市を盛り上げる会	久喜マルシェ(久喜市で一日楽しく遊ぼう!)	497,000	新型コロナウイルスの影響で市民同士の繋がりが薄れた中、家族で楽しめるマルシェ(現代版のお祭り)を開催し、市民が集まる場所ができることで、つながりを復活させることを目的とする。市内在住のハンドメイド作家や飲食店、事業者の認知を広げることで経済活性化を目的とする。楽しいイベントを開催することで市民の機運を高めることを目的とする。	日時:令和5年11月26日(日) 場所:南栗橋近隣公園 内容:久喜市内外のハンドメイド作家、事業者、飲食店、キッチンカー、合計34店舗が南栗橋近隣公園に集まり、子育て家族が一日楽しく遊べるイベント(マルシェ)を開催。 ・ハンドメイド作家による小物販売 ・子どもを対象とした物作り体験、スポーツ体験 ・キッチンカーや飲食店による飲食の販売 来場者数:約1,000人(主催者発表)	・多くの来場者が訪れ、久喜市のハンドメイド作家、飲食店、事業者の認知が広がった ・開始時間前から長蛇の列、途切れることのない来場者にマルシェというイベントに久喜市民の期待を感じた ・久喜市でわくわくする新しいイベントが開催されたことで久喜市の気運が高まったと感じた ・ほとんどのキッチンカー飲食店は完売となる。ハンドメイドの販売も驚くほどの売り上げだった。このことから、久喜市民の購買意欲が高まった。 ・来場者の方々からは、久喜市でこのようなイベントは初めてではないか、とても楽しかった、また開催してほしい、と喜びの声をいただいた。

No.	団体名	事業名	交付確定額	概要・目的	実績	効果
6	PAPAPOWERSPROJECT	パパパワーフェスティバル	1,000,000	日本の高度成長を担ってきた親を持つ現代の父親たちは、子育て全般について経験や知識の不足を抱えている事例が散見される。そこで、子どもとの「コミュニケーション」や「遊び方」について、気付きが得られる、父親と子の遊び方提案イベントを開催する。	日時:①令和5年10月15日(日) ②令和5年12月9日(土) 場所:①久喜市民まつり内 ②鷲宮東コミュニティセンター 内容: ①市民まつりブースにて、子どもたちに「パパの好きなおとこ」を書いてもらうアンケートを実施。記入者にはくじ引きの景品を用意しました。 ②鷲宮東コミュニティセンターにて、子どもたちに「パパの好きなおとこ」についてアンケート、パパママには、「お子さんのエピソードや学んでみたい子育てのテーマ」についてアンケートを実施。記入者には、くじ引きの景品を用意しました。お楽しみコーナーでは焼き餅試食、ファミリー写真教室、お年玉の使い方、パパママ座談会、クリスマスプレゼントなどを用意しました。 来場者:約600人(主催者発表)	①来場者およそ500名から、子どもアンケート200通を集めることができ、久喜市の子どもたちがPAPAを見るとき目線について、大変参考になる情報収集をすることができました。 ②来場者が伸び悩み、約100名程度でしたが、パパママアンケートには、今後の活動の参考になる興味深いテーマや励ましが込められていました。また、同伴のパパやママに本事業の説明をし、会話する中で、「パパの子育て」に関して強い関心を持たれていることが伺えました。
7	【廃止】一般社団法人久喜まちおこしプロジェクト	久喜エンターテインメントフェスティバル	0	地方創生音楽芸能イベントは、コミュニティの結束強化と交流の機会を提供し地域活性化と協力関係を促します。加えて地域に観光客を呼び定住促進や婚活イベント企画の支援を促進します。	-	-
8	久喜イノベーションの会	・久喜市民ロボットコンテスト2023 ・植松電機流「ロケット教室」の実施	572,000	久喜市民のイノベーション力育成(えにし)づくり 久喜市の魅力の再発見	日時: ①令和5年11月23日(木)、12月24日(日) ②令和6年1月28日(日) 場所:①砂原小学校、久喜小学校 ②モラージュ菖蒲 内容: ①子どもロケット教室 ・ロケット教室についてのビデオ鑑賞 ・子ども同士が教え合いながらのロケット製作(子どもから製作体験を奪わせないため、保護者は別室で植松努さんのTED鑑賞) ・グラウンドでロケット打ち上げ(時速200kmで空へ飛び上がり、パラシュートで降下) ②第1回久喜市民ロボットコンテスト ・久喜市での新しい取り組みである「温泉畜養ウニ」をテーマにしたロボコンを開催 ・ロボット製作ワークショップを久喜東コミュニティセンターで4回実施 ・市民参加型ロボットコンテストをモラージュ菖蒲1F滝のコートで実施 来場者数:109人(主催者発表)	① ・幼時から中学生まで27名が参加(砂原小)、幼時から小学生19名が参加(久喜小) ・大人が「どうせ無理」と言うことができない、大人もやったことのない本物のロケット打ち上げ体験を安全に提供できた ・植松努さんのTED鑑賞は保護者から好評だった ・子ども全員がロケット打ち上げに成功した ② ・幼時からシルバー世代まで20チーム、65名がエントリーし、目標の16チームを超えることができた。全小中高に配布した広報チラシは効果的だった ・ものづくりやプログラミングの楽しさを参加者に提供できた ・IoT機器は簡単に自作できる体験も提供できた ・多くの来場者に来ていただき、ものづくりやロボットコンテストの楽しさを広めることできた